

赤十字国際ニュース

2016年 第38号 2016年10月11日
(通巻 第1189号)

日本赤十字社 国際部

東京都港区芝大門 1-1-3 TEL 03-3437-7087 / FAX 03-6679-0785

E-mail: kokusai@jrc.or.jp <http://www.jrc.or.jp/>

■ハイチ：ハリケーン「マシュー」

カリブ海で発生した強力なハリケーン「マシュー」が、10月4日、ハイチに上陸。南西部のジェレミー、レカイ、ニップを中心に35万人以上の人びとが被災、数百人が死亡したと報道されており、現地では引き続き被害状況の調査が続いています。

ハイチ赤十字社は国際赤十字や各国赤十字社の支援を受け、3,000人以上の赤十字ボランティアを動員して救援活動を開始。特に被害の大きく80%の人が家屋損壊の被害に遭ったとされる南西部の町ジェレミーには、ハリケーン直撃の前日から連盟職員が現地入りし、通過直後より衛生用品などの緊急物資を配布しています。また、アクセスの寸断された地域には、ヘリコプターで医薬品を輸送しました。



最も被害の大きかったジェレミーの街の様子©IFRC



ハリケーンの影響を受けた家、レカイにて©IFRC



ヘリコプターで届けた医薬品を運び出すスタッフと赤十字ボランティア、ジェレミーにて©IFRC



トラックで衛生用品を運び人びとに配る赤十字ボランティア、レカイにて©IFRC

日本赤十字社は、国際赤十字の要請を受け、被災者支援に対して1000万円の資金支援を実施しました。また、ハイチで保健事業担当として活動している日赤和歌山医療セ

ンターの小笠原佑子看護師が、衛生環境の悪化によるコレラ流行が懸念されるため調整を開始しています。連盟は、7人から成る現地調査国際チームを被害地域に派遣し、更なる被害状況の調査分析を実施するとともに、救援物資として3台の飛行機にて、防水シート、家屋修繕キット、キッチンセットなどをパナマからハイチに輸送しました。

●「2016年ハイチハリケーン救援金」の受付開始

http://www.jrc.or.jp/contribute/help/2016_3/index.html

このハリケーンで被災された方がたを支援するため、救援金の受付を開始しました。緊急支援、また今後懸念されるコレラなど感染症予防対策に対する支援への皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

ご寄付いただいた救援金は、ハイチ赤十字社が実施する救援活動に充てられます。

- ・三井住友銀行 すずらん支店 普通 2787765
- ・三菱東京UFJ銀行 やまびこ支店 普通 2105770
- ・みずほ銀行 クヌギ支店 普通 0623382

※ 口座名義はいずれも「日本赤十字社（ニホンセキジウジヤ）」

■■■グローバルフェスタに出展しました！■■■

10月1日、2日、東京のお台場センタープラムナードでグローバルフェスタ JAPAN2016が開催されました。学生ボランティアが中心となり、日本赤十字社ブースにてシリア紛争の被害者たちのことや「病院への攻撃 STOP!」に焦点をあてて来場者にクイズや冊子を用いて説明を行いました。

今後、12月に行う海外たすけあい募金キャンペーンを盛り上げていきます。国際活動について SNS での情報発信も行っていくしますので、ぜひ応援してください。



Facebook: jrc.tasukeai (<https://www.facebook.com/jrc.tasukeai>)

Twitter: jrc_tasukeai (https://mobile.twitter.com/jrc_tasukeai?lang=ja)

Instagram: KAIGAI_tasukeai

～今回のニュースはいかがでしたか？ご意見・ご感想をお待ちしております～

★..
大募集！
..★

良かった・もっと知りたいテーマや記事、改善してほしい点など下記アドレスにお寄せください。

ご意見・ご感想をいただいた方の中から抽選で毎月1名様に赤十字グッズを差し上げます。

いただいたご意見・ご感想は今後本ニュース内でご紹介させていただく場合があります。

☆☆ 日本赤十字社国際部 kokusai@jrc.or.jp ☆☆